2025　学校評価委員評価Ⅲ（組織に関するもの）

1　評価委員による評価（４：よくあてはまる　　３：まあまああてはまる　　２：あまりあてはまらない
１：あてはまらない）をご記入ください。

	領域	番号	２０２５学校自己評価項目	評価	平均	担当部署
Ⅰ	教育理念	1	学校は中期的（３～５年程度先）構想を描いている。	4	4.0	管理
評価委員による意見・提言			・2035年以降の18歳人口減少を見据えた構想を描く必要があると思います。	評価		4.0
Ⅱ	学校経営	2	学校は目的・目標を達成するため、事業計画に沿った運営・活動を実施している。	4	3.6	管理
		3	本校の校務分掌は十分に機能している。	3		管理
		4	学校は情報システム化等による業務の効率化を図っている。	3		情報
		5	学校は危機管理体制強化のため、危機管理マニュアルや緊急用備品等の整備を行っている。	4		管理
		6	学校は就業規則等の適宜の見直し、改善、整備を行っている。	3		管理
		7	学校は職員の健康管理を適切に行っている。	4		管理
		8	学校はセクシャルハラスメント、パワーハラスメント防止に向けた配慮や取組を行っている。	4		管理
		9	学校は自己評価点検を適切に行っている。	4		管理
評価委員による意見・提言			・経営のDX化、AI活用により効率化を図った方がいいと思います。	評価		3.5
Ⅲ	教育活動	10	学校は学科の体系的なカリキュラムを編成し、必要な科目を適切に配置している。	4	3.4	教務
		11	学校は関連施設等における現場実習を十分に実施している。	4		教務
		12	学校は教師の指導力向上のため、授業評価、研究授業、互見授業などを実施している。	3		教務
		13	学校は国家資格取得１００%に向けた取組を十分に実施している。	4		教務
		14	学校は学校生活の活性化のための学校行事や課外活動への適切な関与や計画・実施を行っている。	3		管理
		15	学校は携帯電話やスマートフォンの適正な利用など、情報モラル・情報安全教育を実施している。	2		情報
		16	学校は学習支援を必要とする生徒に対する対応を適切に行っている。	4		教務
評価委員による意見・提言				評価		3.9
Ⅳ	教育成果	17	学校は就職率（求職者就職率・卒業生就職率）向上への取組を図っている。	4	3.8	進路
		18	学校は資格取得率向上への取組を図っている。	4		教務
		19	学校は退学率の低減に向けた取組に努めている。	4		教務
		20	学校は卒業生・在校生の社会的な評価や活躍を把握している。	3		進路
評価委員による意見・提言			・退学率低減に向けた更なる取組に期待します。	評価		3.8
Ⅴ	生徒支援	21	学校は就職や進路等に関する学生相談体制を整備し機能的な取組を図っている。	4	4.0	進路
		22	学校は生徒の健康管理のための定期検診や健康相談などを十分に実施している。	4		庶務
		23	学校は課外活動に対する支援の体制を整備し積極的に参加するように勧めている。	4		教務
評価委員による意見・提言			・職員はよく努力しています。このまま継続してください。	評価		4.0

Ⅵ	教育環境	24	学校は学習に必要な施設・設備、教材・教具等の十分な整備を行っている。	4	4.0	教務
		25	学校は施設・設備の安全管理を定期的に行っている。	4		庶務
		26	学校は防災に関する体制を構築し、その整備に努めている。	4		庶務
評価委員による意見・提言			・危機管理意識を高く持って、このまま維持してください。	評価		4.0

Ⅶ	生徒募集	27	学校は生徒募集活動を適正に行っている。	4	4.0	広報
		28	学校は費用対効果に見合った適切な広報活動、情報発信を十分行っている。	4		広報
評価委員による意見・提言			・生徒を集めるには自校の素晴らしさをもっとアピールしていいと思います。更なるSNS発信に期待します。	評価		3.6

Ⅷ	財務	29	学校は中長期的な学校の財務基盤に寄与するための工夫を図っている。	3	3.3	管理
		30	学校は予算の編成及び執行を適切に行い、健全な財政状況の保持を図っている。	3		事務
		31	財務について会計監査が適正に行われている。	4		事務
評価委員による意見・提言				評価		3.6

Ⅸ	法令遵守	32	学校は法令、設置基準等を遵守し、適正な運営を行っている。	4	4.0	管理
		33	学校は自己評価の実施と課題の改善に努めている。	4		管理
評価委員による意見・提言			・よく取り組んでいると思います。	評価		4.0

Ⅹ	社会貢献	34	学校は教育資源や施設を活用した社会貢献や地域貢献を行っている。	2	2.5	教務
		35	学校は生徒のボランティア活動を奨励している。	3		庶務
評価委員による意見・提言			・社会貢献は学校生活に余裕がないとできないもの。評価を上げるためには工夫、改善が必要であるが、余裕があるときに行えばいいことだと思います。	評価		3.1

※ 評価集計方法が昨年までと異なるため、前年度との比較はありません。

2　評価委員による総評をご記入ください。

・2035年以降は18歳人口が激減します。安定した経営のためには、今から対策を講じることを望みます。
・学校全体として教育理念の共有が図られ、教職員一人一人が教育活動の充実に向けて努力している様子がうかがえます。
・前年より改善している項目が多く見られ、教育目標の理解、学校の特色を生かした教育活動、保護者との連携、生徒理解に基づく支援などが着実に進められていると感じます。
・地域との連携・社会貢献の取組については、今後の伸びしろも感じられます。学校が持つ教育力を地域にも積極的に還元し、その取組を広く発信していくことで学校の魅力化と信頼性の向上に寄与していくと思います。
・ボランティアへの参加を継続しながら、退学者減少への取組が必要だと思います。
・実績の上がっている他所のいいところを参考にしながら改善していくことも良いと思います。